

郡山市立富田中学校
学校だより

No.7

手をたずさえて

“富中PRIDE” ~自信と誇り~

自ら学ぶ生徒
正しく行動する生徒
健康でたくましい生徒



令和元年5月24日(金)発行
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

この上ない素晴らしい舞台での演奏 《天使の歌声》ウィーン少年合唱団との共演！本校合唱部

5月21日(水)郡山市民文化センターにおいて、《天使の歌声》と称され、世界に数ある少年少女合唱団の中でも抜群の人気と実力を誇る「ウィーン少年合唱団」が、南相馬市の女声合唱団「MJCアンサンブル」、「UTAU DAIKU合唱団」(合唱愛好家)、さらには郡山市民有志として郡山五中、安積中、本校合唱部を加えた約200人と共演し、ベートーベンの「交響曲第九番(第九)」を声高らかに歌い上げました。

この「UTAU DAIKU」は、これまで5回にわたりオーストリアのウィーンで開催されましたが、今回は、今年が日本とウィーン両国間の国交樹立150周年という記念の年でもあり、復興支援の意味も込め日本の福島での開催が実現しました。東京シティー・フィルハーモニック管弦楽団の演奏や国内外で活躍する4人の声楽家の歌声が加わり、ウィーン少年合唱団の総裁・芸術監督であるゲラルド・ヴィルド氏の指揮の下、この上ない素晴らしい舞台でのスケールの大きな演奏とまりました。アンコールでは、復興応援ソングの「花は咲く」が演奏され、

多くの聴衆の涙を誘いました。

演奏会に参加した合唱部の15名の生徒達にとっては、一生の宝物となる経験になったと思います。音楽には人間の心を動かす大きな力があります。そんな思いを大事にして、今回の経験をこれからの演奏活動に生かしていきましょう。今回もこのような貴重な機会を与えていただきました郡山市音楽アドバイザーの佐藤守廣先生に深く感謝し申し上げます。「UTAU DAIKU」に参加した合唱部のメンバーです。



写真は『福島民報』5/22の朝刊掲載のもの

山田恋奈、村上沙由、滝田沙羅、遠藤永茉、渡部陽夏乃、八島 冴、穴戸幸穂、星 大樹、菅野柊羽、
箭内佑都、江口来偉、栗城叶夢、齊藤 翔、橋本 翼、古川雄翔

◆ 参加メンバー4名の感想です。4名の感想からも大切なものを得たことが分かります。

今回、ウィーン少年合唱団と同じステージで第九を歌うことになり、とても良い経験をする事ができました。2度目の第九だったので、大きな緊張もなく自分自身楽しんで参加する事ができました。ウィーン少年合唱団の方々のすばらしい歌声を聴いて、驚きと感動でいっぱいでした。アンコールの「花は咲く」では、笑顔で聴いている人や涙を流しながら聴いている人などさまざまでしたが、会場全体が温かい雰囲気にもまれながら終わることができました。今回のような貴重な経験をする事ができ、コンクールとはまた違った楽しさを感じる事ができ本当に良かったです。(3-1 山田恋奈)

「UTAU DAIKU」に参加して世界的に有名なウィーン少年合唱団の人達と一緒に第九を歌いました。合唱団の人達の歌声は「天使の歌声」と呼ばれており、とても美しい声でした。聴いている人を感動させる力があると思いました。曲を歌い終えた時の歓声が凄まじく、達成感がすごかったです。(3-1 星 大樹)



僕は2回目の第九を経験しました。1月の新春の第九は「会場にいる人々みんなに笑顔を届ける」という思いが強い演奏でした。今回のウィーン少年合唱団と歌ったDAIKUは、福島の復興の願いがこもった歌声でした。その歌声には、優しさと力強さと友好が感じられました。そして、世界で「天使の歌声」と呼ばれるウィーン少年合唱団との共演は、多分最初で最後の経験だと思います。話せる機会が無かったので少し残念でしたが、一緒に歌うことができたので一生の思い出になりました。また第九を歌える機会があったら挑戦したいです。(3-4 箭内佑都)



私は素晴らしい経験ができたと思いました。ウィーン少年合唱団の方と同じステージに立てたことです。2回目の第九でしたが、1回目の第九と全然違いました。歌っている自分もその歌声に圧倒されました。一緒に歌っていることが夢のようでした。また、指揮者の方にも圧倒されました。ドイツ語で私たちには難しい歌詞を分かりやすく、おもしろく教えて頂きました。音楽では、言葉が違って通じ合うことができることを知りました。オーケストラの演奏も心に残りました。プロの演奏を後ろ姿から見ることができ、なかなか見ることでできない光景がそこにありました。歌い終わった後、やりきったという達成感を味わうとともに、感動が込み上げてきました。もう二度とできない貴重な体験ができて良かったです。(3-6 村上沙由)

創意工夫のある生徒会活動の実現を！

第1回生徒会総会 開催 5/17(金)

5月17日(金)には「第1回生徒会総会」が行われました。1年生にとっては初めての総会となりました。生徒会本部、各専門委員会、各部活動の活動目標や活動計画、予算案の審議が行われました。示された活動目標には具体的なものが多く、今後の活動に期待感が持てました。生徒会活動においては、「今、取り組んでいること一歩深く踏み込んで、レベルを上げることはできないだろうか」とか、「知恵や工夫を結集させ、新たな取り組みはできないだろうか」と、よく考えます。この会を契機に、全校生で生徒会活動を見つめ直し、今までと同じ活動でもそこにひと工夫加えるなど、創意工夫のある生徒会活動を実現し、富中をさらに誇り高き学校へと成長



昇降口に掲げられている『富中PRIDE』

させてほしいと願います。みんなの力で『富中PRIDE』の旗を高く高く掲げよう！
会の準備・運営にあ

たった生徒会執行部、各専門委員会委員長、各部活動部長の生徒のみんなに感謝します。

学級のチーム力が学校の基盤！

生徒会総会に先立ち「前期学級役員任命」が行われました。各クラスの学級委員長・副委員長・書記、総勢66名の生徒が呼名され、1年は安齋颯君、2年は千葉桃佳さん、3年は本田心華さんの3名が学年代表として教頭先生から任命書を受け取りました。学校の基礎集団はまさしく“学級”です。一つ一つの“学級のチーム力”こそ、学校の基盤であり、学校生活の原動力となります。授業には真剣かつ積極的に取り組む、素早い給食の準備・後片付け、手を抜かない掃除、学校行事・生徒会活動での



の団結力、そして思いやりに溢れ、協力性のある温かい雰囲気など、学校における“学級”を核とした様々な活動で、今回任命されたリーダーを中心に学級のチーム力を高めてください。66名のリーダー達の活躍を大いに期待しています。



